

会員へのお知らせ

第79回学術講演会シンポジウム課題の決定ならびに担当希望者公募について

(開催地：横浜市 学術集会長：横浜市立大学 教授 宮城 悦子)

さきに本誌会告により2027年に行われる第79回学術講演会シンポジウム希望課題を会員から公募し、その結果下記の3課題を採用することが決定しております。

つきましては、課題担当者を公募いたしますので、希望者は下記要領によりお申込み下さい。

シンポジウム1(複合)

「産婦人科領域のゲノム編集治療～将来の社会実装を目指して～」

〔解説〕

CRISPR-Cas9など最近の高効率な遺伝子工学技術は、体組織、悪性腫瘍組織、受精胚を含む多彩な対象にゲノム編集を行うことを可能にし、急速な基礎研究の進歩をもたらした。これを受け、*in vivo*や*ex vivo*でゲノム編集を行う疾患治療への応用が期待されている。実際に、実験動物では生殖、胎児発生、悪性腫瘍のゲノム編集研究で新知見が示されている。不妊症、遺伝性疾患、産科疾患の治療として胚・胎児・胎盤のゲノム編集が、悪性腫瘍の治療としてがん細胞や免疫細胞のゲノム編集が想定されてきている。このように産婦人科領域(生殖、周産期、悪性腫瘍)でも、ゲノム編集を用いた治療が、基礎研究の範疇を超えて、橋渡し研究や前臨床研究に移行する可能性がある。

本シンポジウムではゲノム編集治療、特に将来の社会実装を見据えて行われている研究に焦点を当てる。そして、倫理面における国民的議論の基盤となる科学的な有効性について検討をしたい。

〔キーワード〕

CRISPR-Cas9、遺伝子工学技術を用いる疾患治療、ゲノム編集医療、胚・胎児・胎盤・がん細胞・免疫細胞

シンポジウム2(腫瘍)

「ビッグデータとデータ解析技術の活用に基づく婦人科腫瘍治療の新たな展開」

〔解説〕

近年、ビッグデータの活用が進むと共に、がん登録、DPC、レセプト、学会レジストリ等のリアルワールドデータや全国規模のバイオバンクに基づくオミクスデータ等、様々なデータベースが整いつつある。ビッグデータの活用は婦人科腫瘍領域においても悉皆性の高い疫学分析や大規模な分子遺伝学的スクリーニングを可能とし、実際の多様な患者集団に与える治療効果や治療実績、各疾患の詳細な病態の解析を促進してきた。さらに、臨床疫学分析、機械学習、AIによる深層学習、バイオインフォマティクス等の解析技術の進歩は、膨大なデータの精緻な分析を実現可能にした。こうして得られた外的妥当性の高いエビデンスをガイドラインや実臨床の改善に生かし、世界に発信することが大きな課題であり使命である。

本課題では、婦人科腫瘍や類腫瘍における個別化治療や新規治療の開発、医療提供体制の発展への足掛かりとなるような、ビッグデータを用いた研究を募集する。

〔キーワード〕

ビッグデータ、臨床疫学、機械学習、AI、リアルワールドデータ、オミクスデータ、バイオインフォマ

ティクス，婦人科がん，子宮筋腫，子宮内膜症，子宮腺筋症，婦人科腫瘍，婦人科類腫瘍

シンポジウム3(周産期)

「トランスレーショナルリサーチが切り開く周産期医療における新たな治療戦略」

〔解説〕

近年，周産期医療の分野では，基礎研究，臨床研究，疫学研究において多様な手法を活用した研究が進展しており，妊娠高血圧症候群，妊娠糖尿病，胎児発育不全など胎児期環境，胎盤機能の異常に関連した周産期合併症をはじめとする各種病態生理の解明が進められている．これらの研究成果に基づく臨床研究により新たな診断法，治療法の開発が進められており，周産期医療は新たな治療戦略の構築への転換期を迎えている．

本シンポジウムでは，胎児期環境・胎盤機能に関連する周産期合併症をはじめとする各種病態の治療戦略につながる最新のトランスレーショナルリサーチの成果を幅広く募集する．従来の診療体系を超えた革新的な治療戦略を探求し，周産期医療のさらなる向上を目指す．

〔キーワード〕

妊娠高血圧症候群，妊娠糖尿病，胎児発育不全，周産期合併症，胎児期環境，胎盤機能，周産期医療の治療戦略，トランスレーショナルリサーチ

提出期限：2025年11月30日(日)必着

応募方法：申込用紙を本会学術委員会ホームページからダウンロードし，オンラインシステムより提出のこと．

添付書類：関連論文2編の別刷をオンラインシステムに添付すること．

応募上の注意

- 1) 日本産科婦人科学会会員であること．
- 2) 同一機関から同一課題についての応募は単数であること．
- 3) 同一会員が二課題以上には応募できません．
- 4) 応募者は単名であること．連名は受け付けません．
- 5) シンポジウムの表題，演者名，抄録内容^{*}，倫理的配慮^{**}，利益相反^{***}など，応募内容については，すべて演者の責任で確認したうえで応募してください．

^{*}応募内容(不採用を含む)，抄録ならびに発表内容に不正(データの捏造，改ざんや盗用)が発覚した場合，学術講演会発表に関する内規に従い処分されることがあります．

^{**}「ヘルシンキ宣言」，「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(文部科学省・厚生労働省・経済産業省)」，「遺伝子治療等臨床研究に関する指針(厚生労働省)」，「ヒト受精卵の作成を行う生殖補助医療研究に関する倫理指針(子ども家庭庁・文部科学省・厚生労働省)」などの医学研究に関する指針，本会の倫理に関する見解を遵守して下さい．また，臨床研究においては患者個人情報保護に十分に配慮して下さい．抄録上明らかな重大な違反は不採用となります．シンポジウム演者採用後，発表時もしくは発表後に重大な違反が発覚した場合，学術講演会発表に関する内規に従い処分されることがあります．

^{***}臨床研究(ヒトまたはヒトから得た検体に関する研究)に該当する場合，本会の利益相反に関する指針，同運用細則に従い利益相反を申告して下さい．同指針違反者は同指針・運用細則に従い措置を受けることがあります．

2025年7月

公益社団法人日本産科婦人科学会
第79回学術集会長 横浜市立大学 教授 宮城 悦子